

令和5年度不動小学校授業改善プラン

第2学年

	課 題	解決のための手だて
国 語	【領域：言語】 ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。	・順序や時を表す言葉に印を付けるなど、手がかりとなる言葉に着目しながら説明的文章を読むよう指導する。 ・共通や相違に対する児童の理解を促すために、「ちがうところは？」「同じところ・似ているところは？」などの発問を取り入れる。
	【領域：聞くこと】 ○話し手の話に感心をもち、質問すること。	・対話的な活動を取り入れ、相手の話を聞いて相槌を打ったり質問したりする経験を増やす。 ・実態に応じて、話し合うときの話型を確認したり手本を見せたりするなどの支援を行う。
算 数	【領域：数と計算】 ○加法を適用して、順序数と集合数の文章問題を解くこと。 ○時計を読み取ること。	・文章問題を解く際に、立式の手掛かりとなる数字や言葉に着目するよう指導する。 ・実態に応じて、イラストなどを見せて問題場面のイメージができるように支援する。 ・加法を適用する文章問題を繰り返し練習し、慣れさせる。 ・日常的に時計を意識させる声掛けを行う。 ・活動の始まりと終わりの時刻を伝え、児童が自ら必要な時間を考えられるようにする。